

日韓研修の感想と アクションプラン

感想

- 1. 感じたこと
- 今回の日韓教師交流: 2025 韓国教職員日本招へい研修に参加して、日本の教育現場の多様な特徴について次のことを印象的に経験しました。
- 1. 教室内の秩序と集中力を重視する雰囲気
 - ・ 日本の教室では、生徒が授業に集中できるように、教師も生徒も静かな環境を維持しようとする努力が見られました。
 - ・ 生徒たちは、先生の説明に熱心に耳を傾け、自ら学習に没頭する姿勢が見られました。
- 2. 学生間の相互尊重と思いやりの文化
 - ・ 生徒たちはお互いの意見を尊重し、発表や討論の際、耳を傾ける姿勢が見られました。
 - ・ 学年、性別に関係なく、お互いを思いやる姿が自然に根付いていました。
- 3. 日本の伝統を反映した学習と生活文化
 - ・ 学校内で清掃活動が体系的に行われ、それによって責任感や共同体意識を養う姿が印象的でした。
 - ・ 授業の前後に自分たちで学習スペースを整理・整頓する習慣が自然に内面化されていることが印象的でした。
- 4. 活発なクラブ活動を通じた自己啓発
 - ・ 生徒たちは、サークル活動や体育大会などを通じて自己啓発の機会を積極的に活用していました。
 - ・ これにより、学生が自律性と協調性を養うプロセスが定着していることを確認することができました。
- 今回の日本招聘研修を通じて、国際的な教育交流が教育革新の重要な原動力となることを実感しました。生徒の自己主導的な態度、秩序と思いやりの文化、共同体意識を養うことが、長期的に教育の質を高めることに貢献することを学ぶことができました。
- 今後も日本との協力関係を継続し、両国の教育的長所を共有し、発展させていけるよう努力していきたいと思います。

アクションプラン

- 2. 今後の活動
 - 日本で得た経験とネットワークをもとに、継続的な教育交流を推進し、両国間の協力関係を継続していきたいと考えています。

- 1. 日本の教師とのネットワークを活用した教育事例の共有
 - 日韓教師間の優秀教育事例及び教授法を共有し、グローバル教育トレンドを継続的に学習し、適用する
 - オンライン・オフラインを通じた定期的な意見交換及び共同研究を行う

- 2. 共同教育プロジェクト資料の開発及び共有
 - 日韓間の教育革新を促進するために共同授業資料及びプロジェクト資料を開発し、共有する
 - SDGs(持続可能な開発目標)及び文化交流教育を中心としたコンテンツ制作及び協業

- 3. 教育実践計画
 - 1. SDGsの実践案及び両国の文化探求プロジェクトを実施
 - オンライン交流授業を活用し、SDGsの実践方案を探求するプロジェクトを実施
 - 両国の伝統と文化を学生が直接調査し、発表する活動を通じて、国際的な思考力と文化理解力を養う
 - プロジェクトの結果を日本の教師と共有し、日韓教育交流を活性化

 - 2. 学生の自己主導的な学習文化の醸成
 - 日本の授業前後の整理・準備文化を参考に、韓国の教室でも学生が責任感を持ち、自ら学習環境を整備するように誘導
 - 同好会及び放課後活動を活性化し、学生が主体的に様々な経験を積むことができるよう支援

 - 3. 国際教育協力基盤の構築
 - 日韓教育協力を通じて、両国の強みを学び、適用できるように継続的な交流を推進
 - 日本の教師との継続的な協力により、教育革新と授業改善に貢献
 - 多国籍教師のネットワーク形成を通じて、より広い範囲の教育的シナジー効果を創出

日韓教職員
交流アクシ
ョンプラン

研修経験の共有と教師のネットワーク構築

校内研修及び発表

- ・ 日本教育の特徴と研修経験の共有
- ・ 教育理念及び生活指導の違い分析
- ・ 日韓教師対話プログラムとユネスコ活動価値の共有

教師間のネットワーク形成

- ・ 繋がった日本側参加者とのオンラインコミュニケーション
- ・ 日韓教師間の継続的な交流を推進

生徒交流と教育的応用

日韓学生交流プログラム企画

- ・ 日本訪問学校との手紙・映像交流
- ・ オンライン討論会・文化交流イベント企画

授業及びプロジェクトの応用

- ・ グローバル市民教育との連携
- ・ 規範を守ることと個性を生かすことが調和した教育の方向性を研究

長期的な活動計画

- ・ 研修経験をもとに継続的な交流を推進
- ・ 地域協議会内の次回の研修参加者のためのガイドを提供

25年度 ユネスコスクール運営計画

ユネスコサークル運営:週1回、内容:環境、世界市民教育

国際共同授業:月2回、日本の長野盲学校との交流、中学生対象

英語スピーチ大会開催:7月

* テーマ-地球、環境問題についての私の意見

地域社会ボランティア:カOMEMラソン、植樹キャンペーン参加

教職員向け日本研修体験談発表:3月2週間の教職員会議

日本語研修:リモート研修、日本語学習サークル加入

ユネスコサークル 活動

視覚障害の理解を
深める教育・歩行



ユネスコ環境
キャンペーン



視覚障害理解教育：
点字教育



環境教育：
エコバッグ作り



国際共同授業： 長野盲学校



日本文化体験: 食べ物



国際共同授業 世界市民教育

日本語の授業



Action Plan 1

日韓生徒間の継続的な交流の活性化

- 日本の交流学校とオンライン文化交流プログラムを運営(非対面ビデオ会議、メール交流など)。
- 両国の学生がそれぞれの国の教育、生活、文化について発表するオンライン共同プロジェクトを実施。
- 少人数グループ討論(デジタルペンパルプログラム)を運営し、定期的な交流を維持する。
- 韓国語-日本語の言語交換プログラム(生徒間の言語学習活動)運営。

Action Plan 2

日韓学生国際キャンプ及び交換訪問の推進

- 年1回韓日国際交流キャンプを開催(韓国または日本で実施)。
- 日本の生徒が韓国を訪問するホームステイプログラムの運営。
- 日韓共同プロジェクト及びボランティア活動の推進(例：環境保護、平和教育)。
- 日韓の生徒たちが直接企画する共同文化体験イベント企画。

推進のための要請事項

- 学校レベルでの国際交流プログラム予算の確保。
- 教師や保護者との協力による生徒参加の活性化。
- ユネスコ学校ネットワークと協力して交流対象国の中大。

2025. 韓国教職員日本招へいプログラムアクションプラン

研修を通しての省察

1

生徒の人権と教師の権利だけが強調されるのは果たして正しいのか？
教育の変化には慎重な判断が必要だ。元に戻すことは非常に難しい。

2

全校生徒が制服を着て登校し、校内でも制服を着て生活している姿はとても素敵だった。

3

講堂でもない運動場で先生と生徒が一生懸命に体を動かして体育の授業をしている姿に驚かされ、昼休みの給食時間に先生が臨場感を持って給食指導や残飯処理をしている姿にも驚かされた。

4

掃除の時間には、全校生徒が雑巾を用意し、自分の席の周りをきれいに掃除する姿がすばらしい。

5

終業式の時間に、生徒同士が今日学んだこと、感じたことを共有し、明日の学校生活について話し合う姿は本当に勉強になった。

2025.韓国教職員日本招へいプログラムアクションプラン

アクションプラン

1

学校長として国際交流活動を積極的に奨励し、支援する。国際交流業務を独立して構成する。

2

2025年2月、日本の高校とタイの国際学校に教師と生徒を派遣して交流する。

3

タイの学校とMOUを締結した。日本の一般高校ともMOUを締結したい。

4

本校で交流したモンゴルの学校とも国際交流を試みる予定。

5

多文化教育政策学校の公募に応募し、学校構成員の多文化受容性が広がるよう理解、努力する。

2025韓国教職員日本招へいプログラムにおいて

学生芸術活動サークル
(神港橘高校)

地域(町)体験活動
(魚住東中学校)





アクションプラン 学生文化芸術サークル交流

<https://padlet.com/dongguryu/padlet-sysweh6z9xv359p8>



地域行事と共ににする交流

<https://padlet.com/dongguryu/padlet-m8pk2yqwhq6uhppi>



1)研修を通して印象に残ったこと、思ったこと、学んだこと、学んだこと

▶ 印象的だったこと

: HR(終礼)の時間に、その日に学んだことを一緒に共有し、自分の成長した点や反省点をお互いに共有すること。

▶ 考えたこと

:韓国の終礼時間は、主に伝達事項を共有したり、学級運営に関する案内をすることに集中しているのに対し、日本の学校ではより有意義に活用されている。特に、学習が遅かったり、言葉が遅い生徒を最後まで待ち、十分な時間をかけてお互いの意見を共有する点が印象的である。それに比べ、韓国の学級運営はやや余裕を持たずに効率だけを追求する傾向があり、この点について反省する。

▶ 学んだこと

:教育は百年之計と言います。教育は単に入試のための短期的な過程ではなく、個人の成長と協調性を基に、人生における問題解決能力を養うための長期的な過程であることを再認識し、学生の人生の基礎と足場を固める中等教育を実施することを誓った。

2)日本で得た経験とネットワークを活用したアクションプラン

▶ オンライン国際交流授業の強化

- ・ 日韓教職員の交流で縁を結んだ日本の吉川高校(Yokawa High School)と国際共同授業及び交流を行う。
- ・ 日韓の学生がvlogを撮影・共有して交流し、Zoomを活用したリアルタイムのコミュニケーションを実施。

▶ オフライン国際交流の活性化

- ・ 姉妹校の訪韓時、日本訪問で得た経験を共有する。
- ・ 日本の文化と礼儀作法を理解し、効果的なコミュニケーションと交流を促進する。

▶ 経験の拡散と共有

- ・ 学生・教職員に日本研修で得た経験を共有する。
- ・ 日韓の学校及び教職員の文化の共通点と相違点を理解し、[違い]を尊重する態度を養う。



1. 研修の感想

1. 印象的だった点

- サークル活動の活性化（毎日放課後、着実に楽しみながら一緒に活動する）
- 規律と規則を遵守し、教師と生徒がお互いを尊重し、思いやりを持つ文化

2. 考えた点

- 地域社会と連携した学校の教育活動

3. 学んだ点

- 現在、「自律化」を重要視している韓国教育で発生する問題点を様々な方向から再考することができた。
- 「新しい教育革新」の速度と方向性の調節を日本の教育から学ぶ点が多かった。

2. アクションプラン



1. 活動期間: **2025年 4月 ~ 6月**
2. 対象: **全校生徒**(3年生 貿易科中心)
3. 活動場所: 本校輸出入管理1室など
4. 活動内容: 韓日FTA未締結の現状に対する
問題点及び解決策探求活動
5. 方法: **[原産地管理]** 授業の教科連携活動
 - 日本の教師及び生徒との継続的な議論の連携
 - 韓国と日本に対する意見の整理と結果導出

1. 印象的だった点、学ぶ点

1. HRの時間に、その日の成長を発表して一日を締める姿がとても印象的だった。
2. 担任の先生とクラスの生徒が皆で食べ物を受け取ってから挨拶をして食事を始めたこと。
3. 韓国より秩序正しく、授業に参加する態度が誠実であること。

2.教育実践計画：国際交流の活性化

ア.日本の高校と姉妹提携を結ぶ

- 1) 担当部署及び支援範囲
- 2) オンライン交流の日程
- 3) オフライン訪問の交流規模

イ.国際交流の方法

- 1) 国際交流サークルの開設
- 2) 日本語授業内での交流方策



2025 日韓教職員交流 アクションプラン

〈日韓学生交流プログラム事業の準備〉

1. 日韓学生交流事業プログラム計画策定

- 1) 日韓高校交流事業マッチング後の教育課程の共有
 - ユネスコ韓国委員会など外部機関への協力要請
- 2) 日韓学生交流事業の進行
 - ZOOMを利用したオンライン相互プログラム進行
 - ユネスコが目指す価値観の共有及びカルチャーボックスの共有、手紙の書き方、韓国語・日本語学習プログラム、伝統文化紹介等

2. 日韓教師ネットワークの形成

- 1) 各学校の教師の交流プログラムのためのオンラインコミュニケーションを推進する。
- 2) 活発なコミュニケーションを通じて交流事業が持続できるように参加

<研修を通じた経験の共有とネットワーク構築 >

1. 校内研修の実施

- 1) 日韓教師交流事業を通じて知り得た日本教育の特徴及び経験の共有
- 2) 日韓の教育環境及び制度、生活指導、教育哲学などの違いを分析する。
- 3) 私たちが目指すべき教育について改めて振り返る。

2. 地域協議会と協力してプログラムを推進

- 1) 地域協議会で日本での経験を共有する。
- 2) 外国の学校との交流事業プログラムを共有し、多くの学校が文化を交流できるように奨励
- 3) 地域協議会内の次の日韓交流事業参加者のための経験の伝授

日韓教師ネットワークの推進

-参加教師間のオンラインコミュニティ交流

定期的な情報共有及び教育事例の共有(SNS、emailなど)

-教育資料の開発・共有

+
•
◦

日韓教師の教育活動紹介

日韓教師の共同制作授業及び映像コンテンツの共有

-オンラインビデオ授業

日本語と韓国語の会話練習文化交流活動の
ためのオンラインビデオ授業の実施



日韓学生交流の推進

日韓共同プロジェクトの運営

オンライン共同プロジェクト
(日韓共同公演、作品展示など)
日韓学生間のSNS交流活動

+
•
◦

-文化交流の拡大

学園祭、イベントなど日韓文化紹介ブースを運営
放課後サークル交流



アクションプラン

1.学校関係者に訪問発表会を開催

今回の日韓教師交流を通じて感じたこと、学んだことを学校関係者全員に次のように伝えたいと思う。

下記

- 日時: 3月 13日 7時間目に実施
- 場所: 小講堂
- 対象: 学校教職員及びユネスコ生徒会メンバー
- 時間: 15:00-16:00

日本神港橋学校の生徒との交流

日本訪問期間中に学校見学を行った神港橋の学生と放課後の交流活動を以下のように実施する予定。以下の内容は確定的なものではなく、担当者(板倉先生)と継続的に進行方法についてメールで協議中。

下記

- 1.日時: 4月末(日時は未定)
- 2.場所: 夢談力カフェ
- 3.テーマ選定: 地名/文化紹介、学校紹介を含め、ユネスコ17のテーマに拡大する予定。
- 4.1年間継続して実施する予定。可能であれば、学生との交流まで発展させたい。学長と継続的に協議する予定。
- 5.使用言語: 英語(日本語/韓国語)
- 6.既存交流学校の有無: 香港のKing Ling College、北京のLu Hu High School

ユネスコ
日韓教師交流研修
後続活動(Action Plan)計
画書

印象に残ったこと、思ったこと、学んだこと

1. 印象に残ったこと

-日本の学校の協調的な学習文化と共同体意識の強調

2. 思ったこと

- 韓国と日本の教育文化の違いを理解することで、学生に
グローバルな視点を身につける必要性を認識
- 地域性と世界性が共存する教育を通じて、学生が
より広い世界を体験できるようにする

3. 学んだこと

- 教育は国境を越えた相互交流と協力によって
発展できることを体感
- ネットワーク形成を通じて、国際交流の持続可能性を
確保できることを実感

今後の活動 および教育 実践計画

<経験とネットワークの活用>

- 日本の教師とのネットワークを通じて文化交流資料や教育事例を共有し、授業の実践性を強化
- 国際共同プロジェクト(zoom授業)を通じて、学生が多様な文化圏の視点を理解するように指導

<授業への応用>

- テーマ：グローバリゼーションの中での地域文化の保存と変容
 - 日本の学校の教育方法を事例として紹介し、学生が文化圏ごとの違いと共通点を比較分析するように指導
- ** 活動プロジェクト**
- プロジェクト名：日韓学生の日常と教育文化比較プロジェクト
 - 学生が日本の同年代の学生の日常生活と教育方法を調査し、討論を通じて違いと共通点を探求
 - 研修中に撮影した映像資料と直接見て感じた事例を活用し、学生が視覚的に理解できるように支援



2025UNESCO 日韓教師対話 日本招へい研修

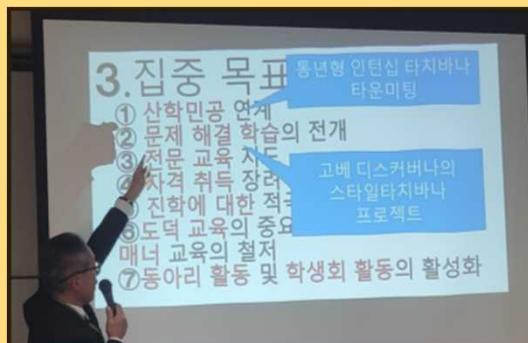
PARTICIPATION REPORT&ACTION PLAN

ACTION PLAN

PARTICIPATION REPORT

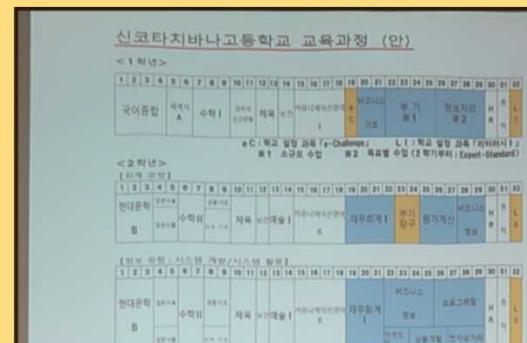
▼印象的な部分(学校)

- 明確な重点目標の樹立
- 韓国語に翻訳されたPPT



▼印象的な部分(生徒)

- デジタル機器活用授業に慣れた生徒たちの筆記姿



▼考えたこと

- 学科系列の接合した教育課程を編成したことが素晴らしい
- “進路”教育が不在である
→日本の‘進学’と‘進路’相談について教師の認識程度及び実際の両国の進路進学相談事例について論議の場が必要

▼学んだこと

- 未来技術と共に存する時代、伝統文化継承及び均衡を通じて教育の本質を強調する教育システム運営が重要

ACTION PLAN

アクションプラン



1. 創意一融合教育活動交流

- 1) 学校間創意一融合教育活動交流
—オンライン会議を通じ学生交流
—文化交流授業の結果拡大、連携
(HAPPYSCHOOLSONG)して学生たち
の創意一融合教育活動を持続できる
プログラムを運営予定



2. 教育課程の連携及び再構成

- 1) 教育課程と連携した授業の再構成
統合社会教育課程と連携して文化理解
授業及び文化相対的な観点と関連した
授業の設計
- 2) クラブ活動拡大
文化交流及び文化理解関連プロジェ
クトを主題にした部活運営予定



3. 研究活動

- 1) 図書貸出
—AIデジタル技術活用授業事例を拡大
研究後、教師対象の図書貸出予定
- 2) 専門的学習共同体運営
—デジタルリテラシー増進関連研究活
動
一日韓教師研修後続研究持続
—活動結果共有及び拡散

[2025年日韓国際交流の感想]

1. 研修で学んだこと

- ✓ 協力の重要性：同僚教師との協力により、準備過程の困難を乗り越えることができました。
- ✓ 日本の教師の献身：困難な勤務環境の中でも、学生のために献身的な態度で最善を尽くす姿が感動的でした。
- ✓ 日本の学生のオープンな思考：日本的学生が韓国の文化と言語に対する関心と前向きな姿勢がとてもありがたく、印象的でした。
- ✓ 文化交流の力：日本の家庭訪問の際、おもてなしと深い配慮に多くの感動を受けました。

2. 研修後の抱負

より広い視野を持ち、オープンな思考を持ち、学生や同僚教師と新しい経験を共有することで、将来の人材育成に貢献したいと思います。日韓交流の継続的かつ積極的な発展を期待しています。

[アクションプラン]

主要活動計画

1. 学生対象プログラム

国際文化交流特別講義: 研修経験の共有及び日本の教育文化の紹介

オンライン交流プログラム: 日本の学生と共同プロジェクトおよびビデオ通話

日本語・韓国語学習の支援: 日本の学生との言語交流の機会をつくる

2. 教職員対象の活動

教師研修セミナー: 日本の教職員との協力経験及び教育方法を同僚の教師に共有

交流の方策拡大の論議: 定期的な国際交流プログラムの議論

期待効果

- ✓ 学生の国際感覚の向上
- ✓ 日韓交流による教育の発展と協力の強化
- ✓ 持続可能な学校間国際交流ネットワークを構築

見知らぬ過去、古い未来

- 授業中の先生に接する態度は、かつて私たちの生徒が見せてくれた礼儀正しい姿だったので、新鮮だったので。
- 神港橋高校で見た茶道の授業や龍踊り、魚住東中学校の剣道の授業、これら部活動で見せた真剣な姿は感動した。
- 食事の時間に見せてくれた整然とした姿から、周りの友達を思いやり、無駄をなくし、持続可能な未来を作る日本の底力を感じた。



夢に向かって手を取り合う

1. 生徒の幸せのために日韓両国の教師が一緒にできること
 - 教師間の情報共有、協力授業の模索
2. 同じ経験を共有した韓国の先生同士が継続的にできる活動
 - ネットワーク組織：地域、科目、関心事など。
 - 各種サークル活動：文化、日本語、登山など。
3. 周りの先生方に私たちの経験を広報する
 - 同じ学校、同じ地域の先生方にユネスコプログラムを広報する。



good morning? Mr higuchi

조상주 <supersem@naver.com>

2025년 2월 19일 (수) 오전 8:40

첨부 6개 2MB 모두저장 이미지로 보기

안녕하세요. 히구치 선생님
유쾌한 선생님과 잘 통하지 않는 언어로 학생들에 대해 이야기를 나눈 게 몇 그제 같은데 벌써 4주 가량이 지나니.
건강하게 잘 지내시겠죠?
한국은 1월 28일부터 1월 30일까지가 설날 연휴였어요. 게다가 1월 27일이 임시공휴일이라 강...
풀어 달라고



2025年　日韓教員交流プログラム感想

■ 学校訪問

- 神戸神港橘高校

:生徒の様々な授業をサポートする空間設計、それぞれの興味や努力に合わせたサークル活動支援が印象的でした。

-魚住東中学校

:学生に支給された1人1台のタブレットが印象的でした。団体生活のための学生の習慣がしっかり身についていることを感じました。自分たちで掃除や整理整頓をすることが体得されていることに驚きました。生徒の様々な授業をサポートできる広々とした空間がうらやましく思いました。

■ ホームビジット(魚住東中学校)

- なかなか体験できない日本の家庭訪問の経験は本当に驚きました。

- 日本のメディアで見ていた「神棚」を実際に見ることができ、とても印象的でした。

- おもてなしをしてくれた家族の姿が忘れられません。韓国と日本の民間交流の重要性を感じることができました。

アクションプラン

- ユネスコ学校地域協議会及び校内事例の共有
 - 韓国教職員招へいプログラムの趣旨とユネスコ活動の価値観の共有
 - 2025年訪日プログラムの感想の共有
 - フォローアップ参加者及び希望校の経験と資料の共有
- 国際交流を通じた生徒活動の推進
 - 日本の学校と国際交流協定を結ぶ。
 - 夏季訪日、冬季訪韓活動を通じて国際理解とプロジェクトを推進する。

アクションプラン

1 教科・学級運営の活用

教科活動

- 1) 学校文化：日課、掃除、給食、サークル活動など。
- 2) 家庭文化：日本の家庭の様子、日本の伝統文化の説明など。
- 3) 教科活動：お互いを思いやる文化の普及、地域社会と連携した学習活動開発



学級活動

- 1) 規則文化の導入：一日の振り返り、称賛など。
- 2) 清掃指導



2 部活動の活性化

01



国際教育交流 プログラム研究

- 1)質問用紙を交換して回答
- 2)地域探究活動の発表

例：グループごとのオンライン交流

02



日韓両国関係改善の ための学生討論会

韓国と日本の文化とアイデンティティを研究し、理解する時間を持つ。

例:韓国と日本理解の冊子を作る。

03



国際教育活性化

常時、国際教育の活性化及び本校2年生の修学旅行の推進を積極的に支援。

例：オンライン/オフライン国際交流

2025年 韓国教職員日本招へいプログラム 感想

■ 学校訪問

- 神戸 神港橋高校

：教師と生徒の積極的なコミュニケーション、生徒たちの明るい姿から、現在の韓国の教育では見られない姿に羨ましさと残念さが交錯した。文化授業では、韓国の先生方と一緒に授業の準備をする過程と、ハングルの創造過程と優秀性を説明することができ、やりがいを感じた。

- 魚住東中学校

：1-5クラスの授業参観、給食体験、文化授業をしながら韓国の螺鈿漆器を紹介し、鏡の裏に螺鈿漆器を体験する授業、生徒の自分の日本名をハングルに翻訳し、小型プリンターでハングル名を印刷して楽しそうにする生徒の姿が今でも鮮明。

■ 家庭訪問(魚住東中学校)

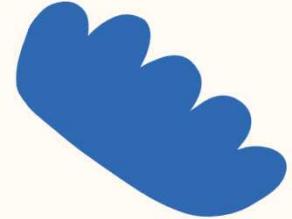
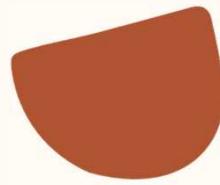
■ - 韓国の家庭でも今ではなかなか見られない14人の大家族構成の姿であり、何よりも橋本さんの家庭で、今回のユネスコが目指す「幸せ」の真の意味と、それが実現された現在形の姿を確認できたことが最も印象的でした。

アクションプラン

- 本校の生徒と教師に日韓教師対話の経験を共有する。
 - 本校1年生の日本語の授業と日本関連サークル活動と連携し、日韓教師対談の経験を学生と共有する。
 - 本校日本姉妹校（広島県の比治山女子高等学校）を訪問し、交流担当者と日韓教師対談の経験を共有。
- 国際交流の拡大を通じた学生活動の推進
 - 本校日本姉妹校(広島の比治山女子高等学校)のほか、今回訪問した神戸新港橋高校など日本の高校と国際交流の結びつきを進める。
 - 本校及び地域のユネスコ活動を通じた国際理解及びプロジェクトの推進

2025日韓教職員交流
韓国教職員日本招へいプログラム

アクションプラン



1. 神港橘高校及び魚住東中学校の紹介

- 1) 日本の学校文化: 学校文化、部活動、清掃、給食、日課
- 2) 地域連携教育活動の紹介
- 3) 教科活動: 入試・進学のための学業充実性の共有、互いに配慮する文化の拡散

2. 日本の生徒の文化紹介

- 1) 食事の作法—必要なだけ提供され、残さない文化
- 2) 主導性と責任感の協調—清掃を隅々まで自ら行い、給食の配膳など生徒たちが直接行う姿
- 3) 制服の着用—正しく制服を着用し着崩さない姿

3. 研修を通しての振り返り

- 1) 活発な地域連携を通して地域社会と学校が緊密にコミュニケーションを取り教育活動を進めていく姿が印象的。
例：商業高校のホテルサービス科専攻の生徒を対象とした地域のホテル1か月間実習、韓国教職員訪問の際、地域の保護者の参加など
- 2) 学級当たりの生徒数が多いが、授業の性格（実習科目）によって人数が流動的に調整され柔軟に運営されている様子が印象的だった。
- 3) 生徒の制服が落ち着いていて、生徒たちが規則をきちんと守る印象を受けた。
- 4) 給食及び掃除文化において生徒たちが自ら責任をもって活動する姿が印象的だった。
- 5) 卒業後、首都圏など特定の地域に人口が密集せずに、地域の優秀な人材が再び地域社会で職業を探すことが一般的だという点が印象深かった。

研修を通して感じたこと、学んだこと

1. 感じたこと

- ・教室内の秩序と集中力を重視する雰囲気
- ・生徒間の相互尊重と思いやりのある文化
- ・日本の伝統を反映した学習と生活文化
- ・活発なクラブ活動による自己啓発
- ・学校内の清掃活動を通じて、責任感や共同体意識を養う
- ・授業前後の自己主導的な整理整頓と準備を重視する文化

2. 学んだこと

- ・教育の持続可能な発展のためには、日韓の教師間の継続的なコミュニケーションが不可欠であることを実感した。
(日韓教育協力を通じて、両国の教育システムの強みを互いに学び、適用することが可能であることを実感)
- ・多国籍教師のネットワークが教育現場にポジティブな影響(教育の質を高める重要な役割)を持つことを経験した。
- ・国際交流が教育の革新をもたらす重要な原動力であることを体感した。

日本で得た経験とネットワークに基づく今後の活動と教育実践計画

1. 今後の活動

- ・日本の教師たちとのネットワークを通じて継続的に優秀教育事例を共有し、グローバル教育トレンドを理解する
- ・共同教育プロジェクト資料の開発及び共有を通じた教育革新を促進する

2. 教育実践計画

- ・ 2、3年生の英語の授業中にSDGsの実践案、韓国の伝統と文化に関する学生プロジェクト進行後、日本の教師と共有